



ラブ  
ル  
ド  
ル  
娘

Peace

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



# 注意

本誌にはブルーアーカイブの  
メインストーリーVol.3  
エデン条約編第4章までの内容・  
前巻「テンシでワルイ娘」の内容  
が含まれています  
該当ストーリープレイ後・前巻を  
先に読まれてから本誌を読まれる  
ことをおすすめします

テンシで  
ワルイ娘  
Dearest

# 前巻のあらすじ

聖園ミカは先生に恋心を抱くも、悪い子の自分には幸せになる資格がないと想いを諦めようとする。

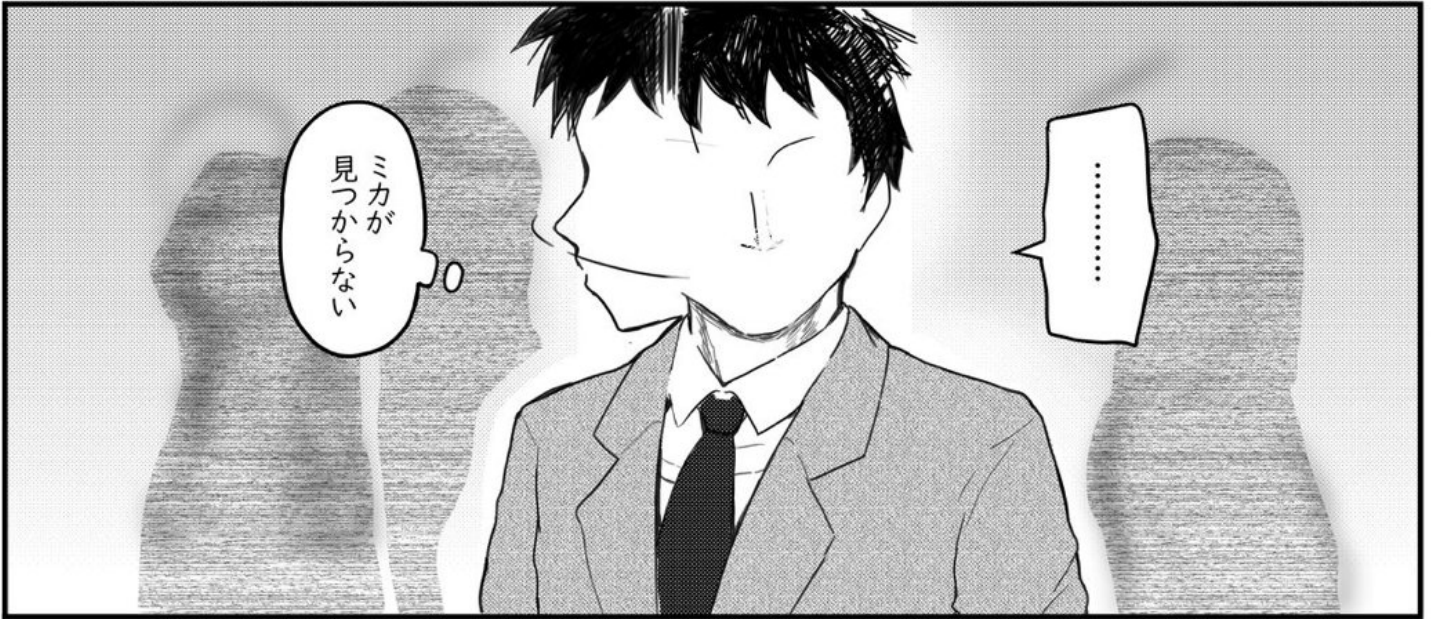
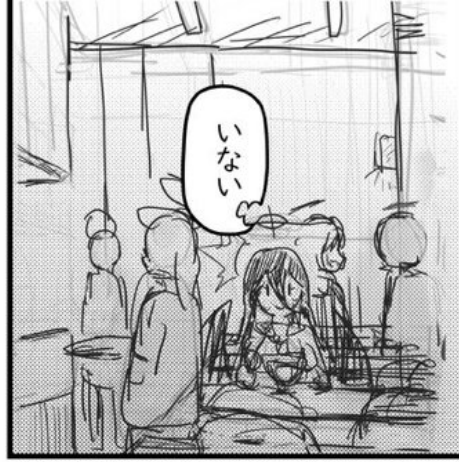
先生もミカを想っていることを伝え、二人は結ばれるが愛を確かめ合うなか、愛は与え合うものだと気付くミカ。

先生を幸せにしたいなら、したいから

『自分が良い思いをしてはいけない』のではない。  
『悪い自分には先生に与えられるものがない』から不適格なのだ

ミカは今度は自分への罰ではなく先生の幸せのために先生と結ばれる未来を諦める決心をしたのだった……









…私の世界から  
ミカだけが  
消えたみたいだ

となると  
やっぱり

はい確かに  
ミカさんが隠れる  
協力をしています

…ですが先生  
ならご存知の  
はずです

その居場所を、  
隠れたいその相手に  
漏らす協力者なんて  
いるわけがないと

ちゃんと話が  
したいんだ

はあ…  
やはり落ち着いた  
対話があったわけ  
ではないのですね







ミカさんの気持ちを  
変えようとしたら、  
それはたった一人の

ですから今回私に  
できるのはミカさんを  
説得することではない

それをすべき人  
でなければ…

ナギサ…



ナギサは、これで  
いいと思ってる？

いえ

ですが、それを彼女  
に突き付けるのは  
私ではないのですよ

仮に初めは衝動的な  
ものだったとしても

今なおこうあることは  
きつとミカさんの熟考  
の上に築かれている

私の思い付く<sup>＝</sup>しかし  
なんて、どれもとうに  
巡った思案の一つに  
過ぎないでしょう



ふい、先生  
貴方とこの手の  
問答を繰り広げる  
のは2回目ですね

以前は生意気にも  
対等な席<sup>テーブル</sup>で話した  
つもりでいました  
シャレの先生と  
ティーパーティー  
のホスト

ですが今回私は  
トリニティ代表では  
なくただの一生徒、  
ミカさんの友人の  
一人として貴方に  
食い下がります

私のしていることが  
どれほど不体裁で  
あっても、それでも  
貴方がミカさんを  
救えると確信して  
送り出せるまでは



さあ先生、示して  
ください  
貴方がミカさんの  
気持ちを無下に  
してもミカさんを  
笑顔にできる根拠を

貴方の見ている  
未来を

私たちを  
納得させてみて  
ください——！！

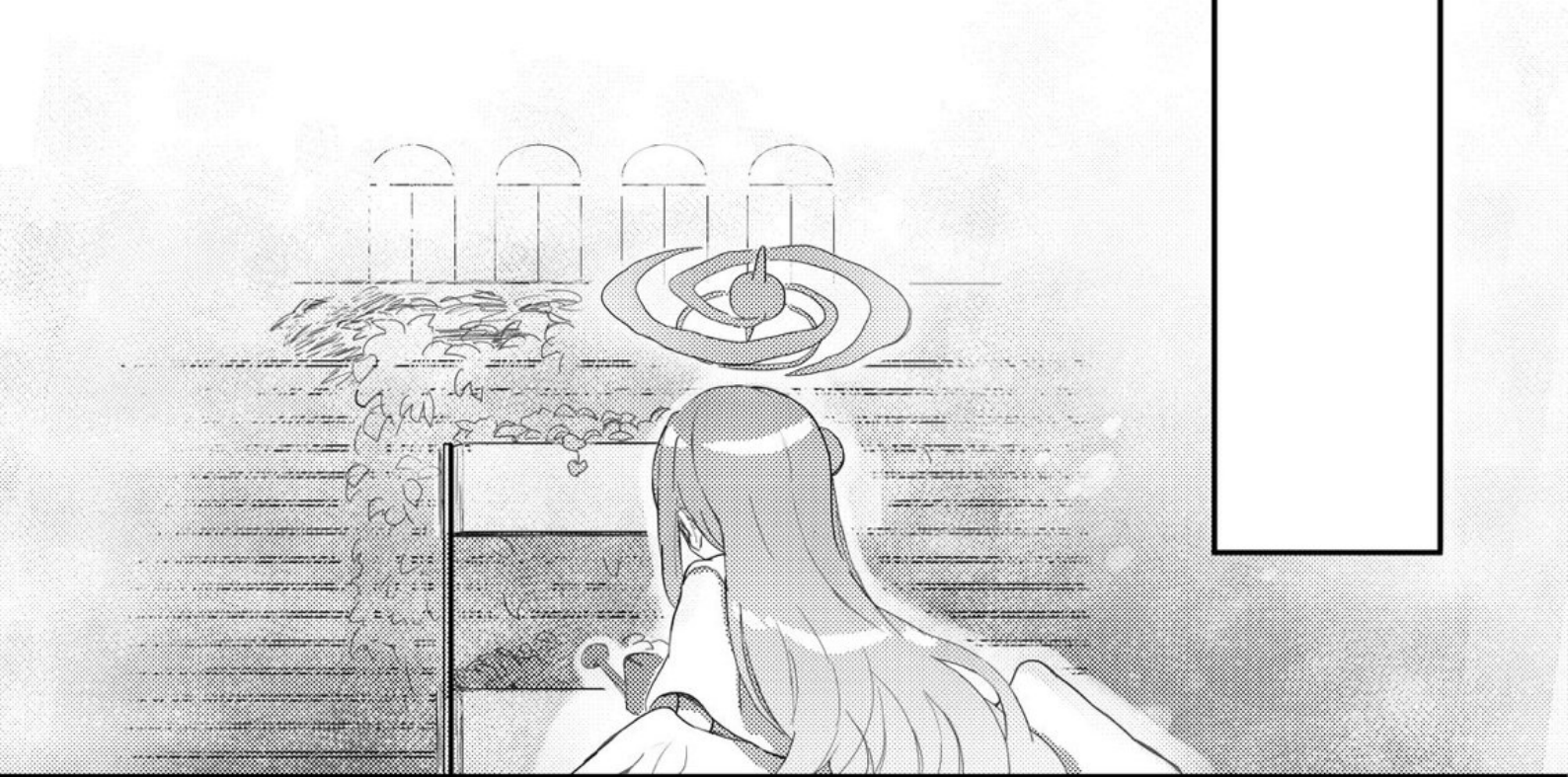




妹

source





…見つかった  
ちゃった



……わーお……

うん  
どれだけ熱弁した  
かな、私がいかに  
ミカを想ってるか

ナギちゃん  
だよな？  
たぶん結構  
粘ったでしょ



先生

ミカ



ごめんね、  
逃げて  
また先生の話を  
聞かなかったね

ちゃんと向き合おう  
と迷惑かけそう  
だった……ううん  
私にもよくわかんない

胸に穴が空きそうまで、  
私が耐えられなかった





先生

人を好きになる  
って難しいね

先生より私のことを  
優先する先生を  
見てきたからかな

私もね、私より  
先生のことが  
大事になっちゃった

本当に、好きなの

それで、どうしたら  
先生がもっといい  
思いをできるか  
考えてたらね

そもそも私が隣に  
いることが先生に  
とってマイナスなん  
じゃないかって

他の、もっと良い子  
と一緒にほうが

先生がもっと幸せに  
なれるんじゃないかって

私じゃダメなの  
悪いコトして  
取り戻してない  
私じゃ

私のせいで先生が  
良い思いできない  
のが一番嫌

先生のこと好きな子、  
きつといっぱいいるよ

私とのことは衝動的  
だったって忘れてさ  
本当に良い子と  
一緒になったほう  
が先生もいいよ

…やっぱり、ミカ  
がいなくなつた  
のは私を想って  
だったんだね

でもミカは私が  
ミカのことだけ  
好きになつちやつたか  
わかつてない

確かに生徒は  
皆大事だよ

でもね

他の良い生徒なら、  
なんて仮定自体、  
ありえないんだ

だって—



私は  
選んだから

私の大切な

「私の大切なお姫様に」

その瞬間  
私はね

生徒としてよりも、  
たった一人の大切な  
女の子として

ミカを見て  
いたんだ

…覚えてる  
覚えてるよ

ミカがいい  
ミカ以外考え  
られないんだ

ミカがミカ自身を  
諦めるくらい私を  
想って考え尽くして  
くれたのは嬉しいけど

はっきり言うよ  
ミカがいて被る  
迷惑なんてないし

仮に、万が一、私の与り  
知らない不利益があった  
としても、そんなの  
ミカが隣にいない不幸に  
比べたらなんてことない





ミカは本当に  
よく泣くね

よく泣いて  
ころころ笑って  
驚いて恥じらって  
全部いとおしい



取り戻して  
なろうと、  
どこまで問題児  
だろうと

そういうのも  
全部ひっくるめて  
私が一番、一緒に  
いたいのがミカだ

だったらミカと一緒に  
いられるのが一番  
幸せに決まってるよ



私だけの  
お姫様に  
なってほしい

これから先、そんな  
愛しさを一番近く  
で感じていたい  
ミカ

相手にとって自分が  
一番良い存在なのか  
という尻込みは誰に  
だって、私だってある  
でも今は、そんなものも、  
これから言う言葉への  
恥ずかしさも要らない  
ミカにとつての  
一番は私なんだから



はっ





ミカ、本当にいいの？

ちゃっ  
ちゃっ

はっ



ロマンなんでしょ？ 私にはその趣味はわからないけど、何かに憧れる気持ちはわかるから

このカッコのまましてあげる

いよ

ミカにとってのお姫様扱いと重なったのかな



もう先生、必死に見すぎだつてば♡

先生のために見させてあげてるけど、これ結構恥ずかしいんだか…

あー

んん  
あー  
あー  
あー





せんせつ  
え、舐め

先生のしたいことなら  
全部させてあげたいけど  
流石にヘンタイ  
っぼいよお

ミカもこの間  
舐めてくれたでしょ

あれがどれだけ  
気持ちいいか  
教えてあげる

ははははは  
女の子のは  
小っちゃいから  
全部口に入れて

ふやけるくらい  
唾液浸けにも  
できるね

ここ、敏感なところ  
舐められるの、こんな  
感じなんだ...

先生のつばに  
浸かっている

息も唾も、先生の  
口の中温かくて、  
そこをヌルヌルの  
舌で突っ...

腰、浮い  
ちやう...

ミカのクリ、小っちゃい  
のに一生懸命膨らん  
でるの可愛い

ミカも舐められる  
快感がわかった  
かと思ったけど

女の子は膨らむ  
場所と入れる場所  
が別々だから

もう私の二倍  
気持ちいいかもね

舌、入ってる  
私の内側  
舐められてる

わかったっ♡  
感じるとこ  
舐められるの

気持ちいいって  
わかつちやっ

わかつたけど、  
わかつたけど...

ここ、違う

舐められる  
ためじゃない  
先生の、挿入れるのが  
一番気持ちいいように

初めから、そういう  
ふうにてきてるから

違う刺激が来るほど  
その本当の使い方、  
シたくなっちゃう





これって今までのど  
当たり前方変わって

……あの時は  
本当にあれで  
最後のつもりで

だからせめて  
忘れることのない  
思い出にしたいくて

身体に刻み込むように  
何時間も、数えきれない  
くらい、出して、出して  
もらって、イっちゃった

それが  
仇になった

私の奥、刻まれ  
ちやつてたんだ

綺麗なこと  
思い出以上の  
いやらしいこと  
愛欲を

先生に、本気で  
突かれたらどんなに  
気持ちいいかって

ミカのこと、  
よだれ凄い  
そんなに味わい  
たいのかな



じゃあ  
しよっか

もう一回、  
今度こそ結ばれた  
記念のエッチ

うん……うん

もう私、待ち  
きれないよ……

早くう……先生の  
熱いので、私のこ  
いっばいにして……





やっぱり、先生の大きい

初めての時は入るか心配だったのに

今はこの大きいのが、ドキドキするし嬉しい

あ...来る先の太い部分全部入っ...

ヒッ  
ハッ  
キッ

クワッ  
クワッ  
クワッ

クワッ

クワッ

キッ  
キッ  
キッ

ミカ

ミカ



え

なんでこんな

感じて

ミカ、入っただけでイッてる

でもまだカリ首までしか入ってないからこのままミカの一歩深くまで全部沈めてくよ

えっ、まっ



待って  
せんせ

これ、私  
おかしっ

奥当たったけどもう少し押すね

うん、全部入った





今のほうが  
気持ちいい  
のは当然だよ

ああ、ミカの困惑の  
意味、多分わかった  
だってミカ、  
前回は初めて  
だったんだよ

最初から  
こんりやによ  
しつ、知らりや…

にやんで  
こんなつ

はっ  
あ



これからも、セックスは  
するほど良くなるし、  
しかも私の形が一番  
『合う』ようになるね

正真正銘、  
私のお姫様だ

これからもっと…？  
そんなの、本当に  
私おかしく

この前でも最後、  
とろけるくらい  
気持ちよかったのに



回数を重ねるほど  
ミカの身体は感じ  
かたの要領を掴むし

日にちも経ったから  
前によく擦られた所  
の肉も、

厚く柔らかく、  
感じやすい形に  
変わってるかも

そつ、そんな…  
それ、ホントなら



あつ  
身体、期待して  
勝手に締まって

お、ミカの弱い  
とこ狭くなって

じゃあ念入りに  
くぼくぼーって

このままだいっばい  
擦られてこねられて

もっとミカが気持ち  
よくなっちゃう場所  
に成長しようね



ミカ、面白い  
くらいイクね

まああんなに愛液  
の甘さが濃いーくなる  
くらい身体は交尾  
したいモードなのに  
それに気付かずミカの  
気持ちの方は油断して  
強い快感を受ける準備  
をしてなかったんだ

こうもなるよね

せ、せんせっ

うん？

先生は、どう  
……？まだ……？

堪能したいし  
私はまだイクの  
我慢するよ

私、もうやだあ

そんなこと

あ  
あ

ミカの膣内はそう  
いってないけど

気持ちいいの  
嬉しいって熱々の  
愛液止まらないし

まだ気持ちよく  
してっつてずっと  
締め付けてるよ

……だから、嫌なの  
欲しい気持ちいい  
の、こうじゃない

先生っ もう一人で  
ずっとイクのやだあ  
寂しいよお

ここも、前はずっと  
先生の出したの、  
冷める間もない  
くらいずっと熱いの  
注ぎ換えられて

たぼたぼしながら  
イけてたのに  
今日はここ  
寂しいままイク  
の、もうやだ

先生、一緒にイコ？

イって、私のここ、  
先生の出した熱いので  
いっぱい満たして

私の欲しい、  
一番幸せで一番  
気持ちいいイキかた  
でイかせてよお……

ミカ……！





ミカのこと考えて  
なかったね  
出すよっ  
ミカが一番幸せな  
イキ方させるから

うんっうんっ  
出して  
一緒にイコ

ああ、一緒に



「希望の射精、  
存分に味わい  
ながらイケッ

あー  
あー

あー  
あー  
あー





あつ♡

あつ♡

あつ♡

あつ♡

寂しかったお腹、  
一瞬でばんばんに  
なっちゃったあ♡

あつ♡

なのに♡まだっ  
無理矢理もっど  
注ごうって出てる

もうこれ以上  
入らないってばあ

今だって、先生の精液  
で水風船みたたく、  
もとの形よりずっと  
膨らまされてるのに♡

あつ♡

えへっ♡  
えへへ 先生ので  
いっぱいあい…♡

やっぱりこれ♡

中出してこんな  
に悦ぶなんて  
エッチに育ったね

先生がこうした  
んだもーん♪

どう？先生の理想の  
えっちなお姫様に  
なれてるかな

お腹、先生に  
射精されたので  
重くなって♡

あつたかさが子宮から  
じわあ♡って広がって  
くの感じながらイク  
のが一番好き…♡

ね、ここじゃ  
いつ人が来るか  
わからないし

もっと、二人きりで、  
一晚中シてられる  
ように場所移そ？





そのぶん、隔てなく触れ合ってる所は熱い...♡

服着てるから先生の温もりが全身でわかるわけじゃないけど



あーん

あーん

あーん

あーん

これっ好き♡

先生、近くて簡単に抱きしめられて

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

先生、制服エッチ、そんなに好き...? おへんの奥で、すっごい大きく♡なってるよっ...

深いっ♡ 大きい♡

あっあっ 気持ちよすぎる 先生のよく当たる場所、全部私の弱いとこで...うん

これホントに私の身体、先生専用に変えられて動き、全部気持ちいい

格好だけで興奮してるわけじゃないけど私が見惚れた時の姿のミカを抱けるのは感動だね

そっかあ...

こんなの続けてたら止められなくなっちゃうよ 先生とエッチ、いっぱいしたくなっちゃうよ

あーん キュッ♡ ぶり♡ ぶり♡ あ、姿見あった





この格好で、  
こんな場所で  
エッチしてる  
んだから

もうあと一歩で  
いつでもどこでも  
エッチできちゃうよ

あ…私…  
こんな…

ドキ  
ドキ

もうミカの制服は  
エッチした格好に  
なっちゃったし

トリニティは  
エッチした場所に  
なっちゃった



だからこれからは  
ミカがシたくなつて  
私を呼んで人陰で…  
なんてあるかもしれない

やだ…そんなの  
ハマっちゃったら

これから先、  
どんどんしたく  
なっちゃう

いいじゃん  
毎日でも  
する？

ダメだよ…いつか  
バレちゃうよお

いや、動物の息遣い…  
人通りの少ない  
道だからね  
速く行こうが

あ、来た来た  
ほら行くよ

は…  
何か音が  
誰かいるん  
でしょうか





バレてもバレなくてもそんなエッチなの  
これからの私の学園生活、めちやくちやになっちゃうよ

あ  
ははは  
はっ  
そう、これから先だから

あ  
あ  
あ

それはいけないね  
ミカにはちゃんと幸せな学園生活を過ごしてほしいからね



じゃあもつと先、私とミカと一緒に暮らすようになる日が来たら一緒に……

君と迎える、未来の話をしよう

それなら時間の許す限り、望むなら一日ずーっと愛し合って、

いちにちじゅう……

そう、一日中、耳元で愛を囁かれながら生徒の間我慢したぶん、めいっばいエッチに溺れようか

優しくして幸せな、未来の話



私の身体、先生のしたいだけ先生にメロメロにさせてもいいよ

しょうがないなあ  
じゃあ……  
いいよ



……えへへ



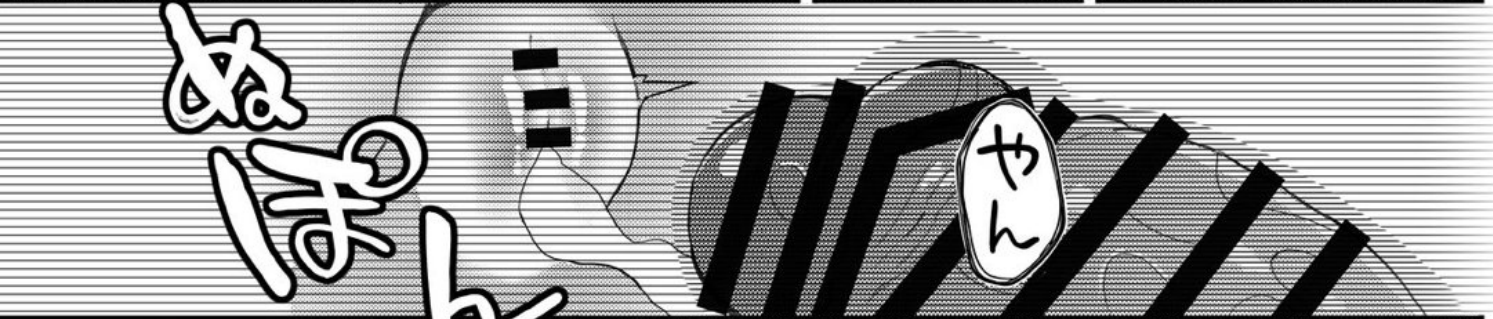
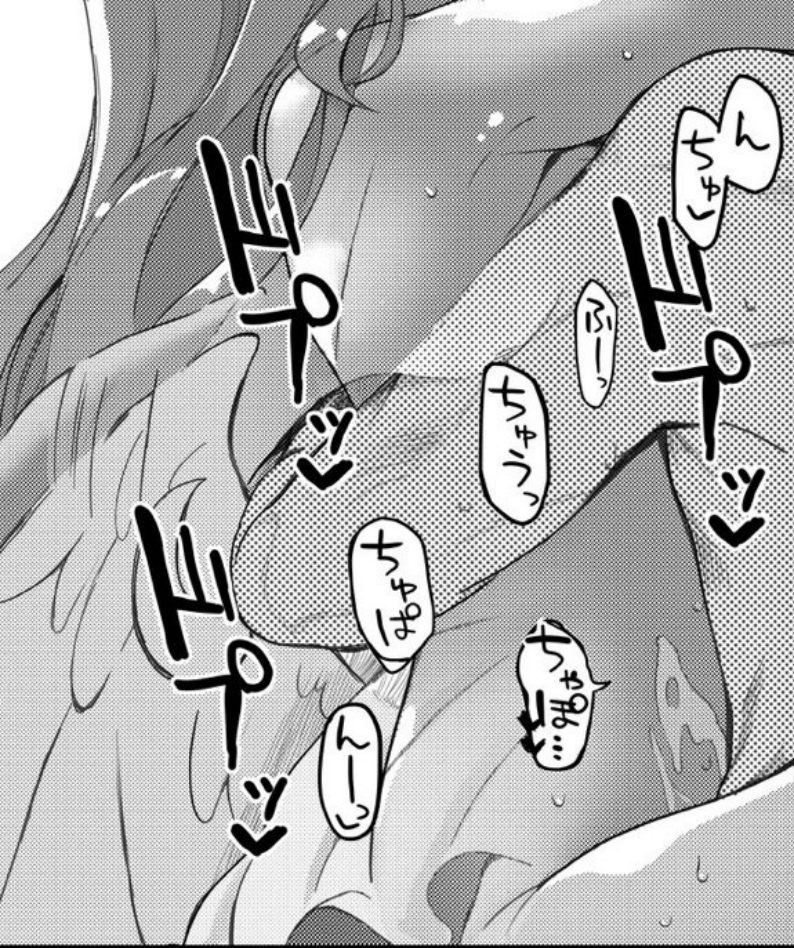
勿論もうミカはこの先ずっと、愛しい愛しい私の恋人だよ

先生……私のこと生徒じゃなくなった先もずっとしてくれる？  
いつまでも愛してくれる？













まだまだ  
はびま  
足りな...

はははっ

ミカ、口ちっちゃい  
のに全部啜えて

そんな奥まで  
勢いよく...っ  
大丈夫？

大丈夫っ  
してあげ  
たいから

だって、お口  
の中、気持ち  
いいもんね

私も知ってるよ  
先生に、教えられ  
ちゃったから...



せんせっ...  
まだできそう...？

私、もっと...  
...したいよ

先生を元気に  
できること、  
何でもするから

大丈夫

一晩中できるとも  
寂しくないとも  
言ったからね

あ...

じゃあ、エッチが  
大好きになっちゃった  
不良生徒と、ミカを  
そうした悪い先生で

このまま朝まで  
いちゃいちゃ恋人えちち  
不純異性交遊  
しようか

うんっ♡うんっ♡  
一晩中、もう二人の  
つなぎ目わからなく  
なっちゃうくらい、

くっついて、  
かき混ぜて、  
トロけちゃお...♡



先生っ、す、ごう...

何回も貰って、のに...  
量も勢いも凄いままで

熱いの勢いよく  
浴びせられ続けて

私の奥、甘く  
痺れちゃってる





ちょっと待ってね  
私のでよければ

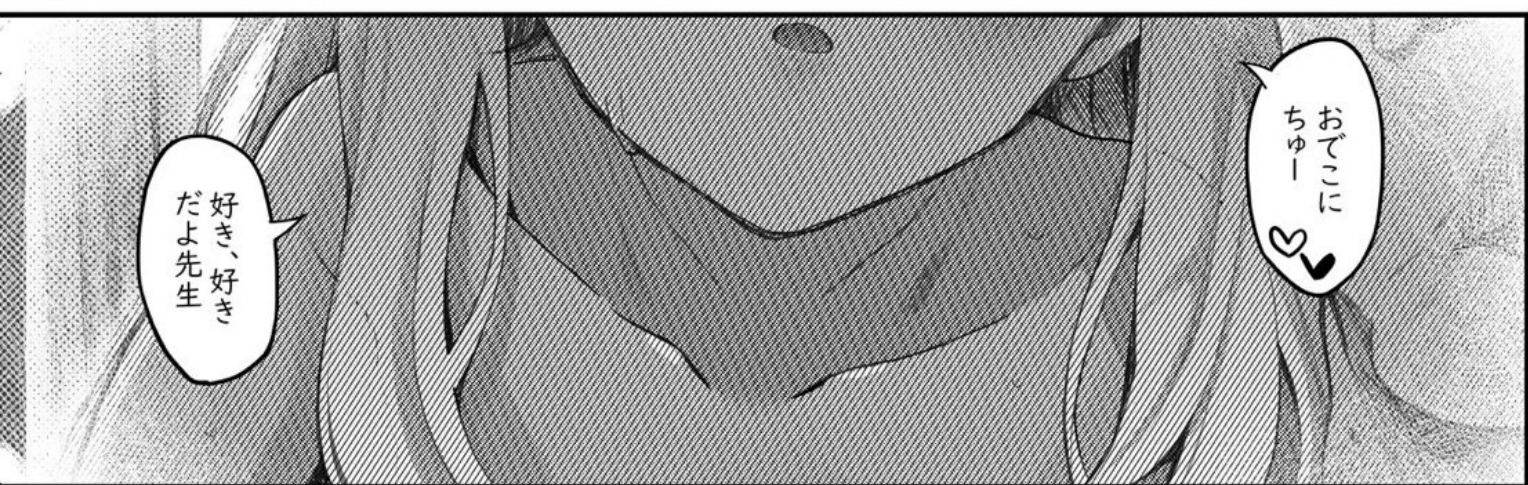
ずっと頑張って  
くれてるもんね

先生、よく  
見たら凄い汗

ふーっ  
ふーっ  
うん？  
あはっ



えへへ、  
はい  
カッコ良  
く  
な  
っ  
た



好き、好き  
だよ先生

おでこに  
ちゅー♡





ズクズクズク

あんっ♡  
先生の、もう  
また大きく

私の臍内を押し広げ  
ながら大きくなるの、  
ゾクゾクってなる♡

いいよっ♡私  
今日は…♡  
先生のしたいだけ  
私の身体、好きに  
してほしい♡♡

みみゅん



あっ  
あっあっ  
先生、やっぱり  
私の胸好きだね

乳首から胸全部に  
広がるみたいに、  
じわって熱く  
痺れちゃってて

さつきから何回も  
舐められたり  
弄られてると  
私の全身、もう  
ずっと軽くイキ続け  
てるのが合わさって

胸触られながら  
ずぶずぶ突かれる  
の、気持ちいいよ

せにゃー  
たん

みみゅん



え、気持ちいい  
場所？言うの？  
名前を？  
ええ…

…ううっ  
…じゃあ、  
耳貸して

確かに二人しか  
いないけど

恥ずかしい  
んだから

たん

みみゅん

みみゅん

みみゅん









射精されてる顔なんて  
言わないでよお

りやめえ…  
恥ずかしいから

ううう…

はい

はい

ドクドク

はい



キス  
キスしながら  
イきたっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ん



…うん…  
射精されてイクの、  
何回されても  
気持ちいい…

はい

私のお腹、勝手に  
先生に射精される感覚  
に集中しちゃってる

はい

はい



私のお腹、勝手に  
先生の新しい  
あつあつの精液で

ぱんぱんに  
なるよう入れ  
替えてるよお

あっあっ  
私、何も意識  
してないのに

先生が、こんな  
イケナイこと教育  
したんだからね

だから

はい

はい





だから、責任とって  
私のこと、これからも  
ずーっ〜と

大事にしてね  
先生



さて

これでようやく  
ミカさんと  
まともに話が…



良い形に収ま  
ったようで本当に  
良かったです

ミカさんの葛藤  
の鎖を先生の…

いえ、二人の愛が  
解いたのですね





どうしよう

先生のこと、どこまでも好きになっちゃう…

意外と男らしいし…

エッチ凄かったし

……エッチ、

凄かったなあ

……♡♡♡♡

ミカさん

生徒の間は我慢  
するって言ったけど、  
本当に二人とも  
我慢できるかな…

先生も男の人だし、  
先生の性欲は  
カノジヨの私が発散  
させてあげたいし

ミカさん

どうしよう、トリニティの  
人気のない場所、本当に  
毎日秘密のお姫様扱い…

もしそんなイケナイ  
甘さ教え込まれちゃっ  
たら、私本当に抜け出せ  
なくなっちゃう…♡♡♡

カノジヨ……♡  
…先生の恋人に  
なれたんだ  
というか  
=私のお姫様=  
♡  
…お姫様…  
あれ、プロポーズ  
みたいだった

ミカさん

ミカさん



だって恋い慕う  
相手のことで  
頭がいっぱいで

結ばれようものなら  
我が世の春とばかりに  
浮かれるというのは



ミカは本当に  
しょうがないね  
ほら先生も来たよ

今回は怒ら  
ないんですね  
大見せしめを

前はミカの危うさ  
の一因だったから  
口実にしただけで

今惚気るとい  
うこと自体はまあ許し  
てやるつもりだ  
確かに怒鳴って

あ、先生

ガッパッ



成る程  
それ自体は

如何にも普通の  
女子校生らしい  
じゃないか





自罰心も、清算  
しなければという  
焦りも依然として  
あるのだろう

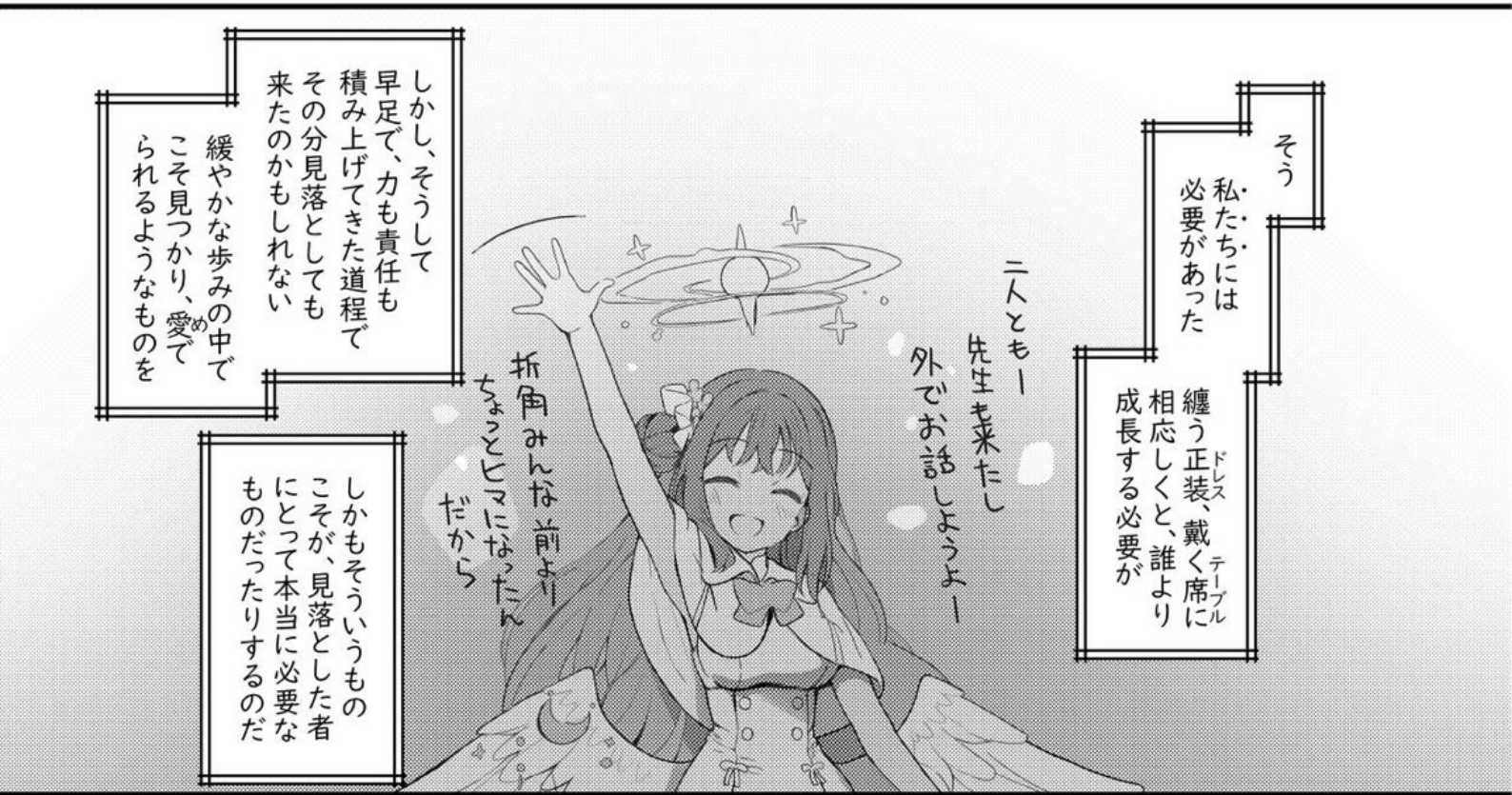
それでもこれからは  
傍で支えてくれる  
先生が…勿論  
私たちも居るからね

できなかったことも  
してしまったことも、

焦らず、何も失わず、  
少しづつ取り戻して  
いけばいいさ

そうですね  
そしてそれは

ああ



そう

私・たちには  
必要があった

纏う<sup>ドレス</sup>正装、戴く<sup>テーブル</sup>席に  
相応しくと、誰より  
成長する必要が

二人ともー

先生も来まし

外でお話ししようよー

折角みんな前より  
ちゃんとした<sup>ママ</sup>になったん  
だから

しかし、そうして  
早足で、カも責任も  
積み上げてきた道程で  
その分見落としても  
来たのかもしれない

緩やかな歩みの中で  
こそ見<sup>め</sup>つかり、愛<sup>め</sup>で  
られるようなものを

しかもそういうもの  
こそが、見落とした者  
にとって本当に必要な  
ものだったりするのだ



ええ

散々遠回りを  
してきた私・たちの

そして他ならぬ  
彼女の

落ち着き  
のない友人を  
もったものだね

そして、そうやって  
人より多く  
背伸びをして

目を背けて

まったく





青春の日々と  
いうものは

こうやって  
ここからまた  
始まるのだろう

# テンシで ワルイ娘 完

HAPPY  
END

The girl defines herself as a bad girl



# 久々のなげえあとがき Dearest

↑ 2とDがかかるとか  
しています  
記体のついでに小文字ですが、  
作品名としては全て大文字  
です  
DEAREST

読んでくださってありがとうございました。

前巻を頒布した際には反応が怖くて仕方がなかったテンシでワルイ娘ですが、これにて無事完結となります。

初めはもっと気軽な内容のつもりだった本タイトルも、テキストのボリュームとしても内容としてもそれはまあ重くなったものです。ミカという女の子への僕の感情がそのまま現れたかのようです。

これを2巻にわけた理由も、読んだ今ストンと腑に落ちていただければ、書き手の意図(…などと高尚ぶるより『作戦』とでも呼ぶべき、もっと子供じみた“面白さ”への挑戦)が思い通りに伝わって、ものを書く身としてこれ以上ない幸福です。

前巻で見離さず読んでくださった皆さんと、ブルーアーカイブというゲームに最大限の敬意と感謝を、ブルアカには挑戦心も込めて。

見てるかブルアカ。これが僕の、エデン条約編3・4章なんて至極のコンテンツをぶつけられたことへの、1年弱をかけて書いたアンサーだ。

常々言っていることではありますが、全年齢向けソーシャルゲームには個別ヒロイン√も、結ばれた後のラブラブな恋人どうしなら当然あるはずのエッチな体験ありません。

キャラクターが多いゲームであれば、推しの活躍は常にあるものではなく、推し続けるなかで『飢え』が生じることもあるでしょう。僕は一番に僕自身のその飢えと、公式では決して語られ得ない恋の成就を埋めるためにこれを描きました。

こんなもの  
二次創作はどこまでいっても、どこまで似せても、公式ではない一個人の妄想です。でも、その考えに考えつめた妄想が。もしも。まるで本物であるかのようなディテールと機微と繊細さをもってそこに在り。まるで本当にあり得たような一つの可能性としての説得力と存在感を放ち。僕だけでない、同じような飢えを持つ“原作のファン”にもお裾分けのようにそれを癒せることができれば。

そんなものが存在するなら、それこそが僕にとっての二次創作の『真髄』です。僕が二次創作を書くにあたって目指す終着点であり、僕がどの本でも、とりわけこの本では今までよりも強く、そうあれと願っていたものです。

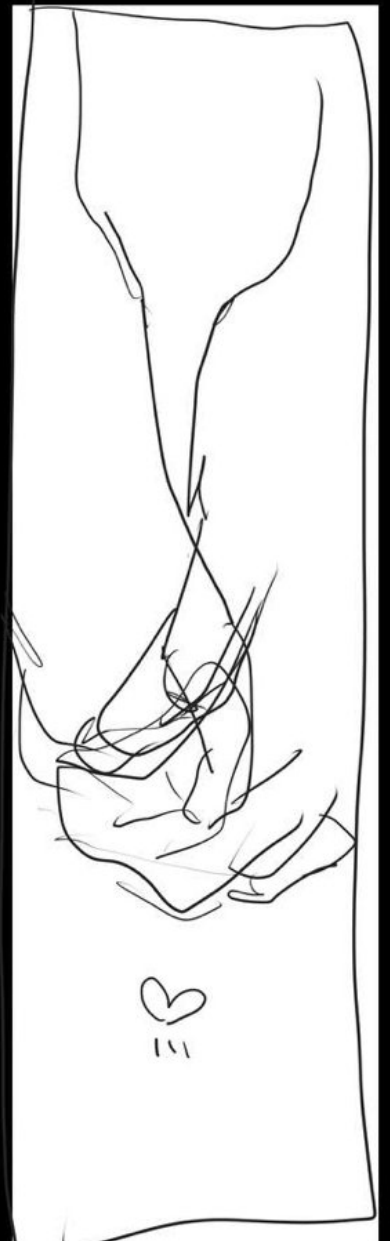
一瞬だけ暗い話をしますが、創作の持つ力は日々膨張し、そこには逆らえないほどの数的暴力性も孕んでいます。二次創作の制限が緩くなったように感じるとすれば、それは二次創作の良さが理解されて、広まり、どこでも認められるようになった、そんなわけではありません。正確には、口を挟もうものなら理不尽な損害を与えられかねないようなその暴力性により、言いたくても余程ラインを越えられない限りNOと言えなくなったものだと、僕は思っています。

そんななかで、二次創作へ良き共存を望むかのような懐の広さを見せてくれるブルアカ。僕の一番好きなゲームがこうよかった。こうであるから、僕のこの本がもしも最高の二次創作の一つのかたちであるならば、そのこともまた、ブルアカに対する僕の感謝の一つとできる。

あなたにとって、これは良き二次創作であったでしょうか。仮にどんな苦難が待っていてももう二度と揺るがない、ミカと結ばれることが約束された話になったでしょうか。ヒフミがあの時口にしたハッピーエンドは、彼女の周囲、見える範囲に限ったような利己的なものではきっとない。詭弁でも、彼女の見えない・知らないところも、なるべく皆がハッピーエンドを迎えられるような光景のはずです。この話は、エデン条約編で私たち先生が見届けたそんなヒフミの言を台無しにすることなくリスペクトした、尊敬すべきエデン条約編の更なる後日談として相応しい、爽やかな、ブルーアーカイブらしい青春の物語としてあなたの胸に響いているでしょうか。もしそうであれば嬉しいです。

最後に改めてもう一度、聖園ミカを愛するあなたの日々がこの本でどこかほんの少しでも良いものになるようにとの祈りと、聖園ミカを生み出してくれたブルーアーカイブへの感謝、これからも作家としてもっと研鑽を重ねますという誓いを添えて。

桐井ナオ









ほら、行こ  
先生

これは、決して優しく  
なんかない世界に  
生まれたお姫様が

わがままに育って、  
過ちだって犯して

それでも最高の  
お友達に恵まれて

最高の男の人  
と恋をして

最後には最高に  
幸せな日常を  
掴めるような

そんなお話！

お土産は  
十中ちゃんと  
セイアちゃん  
あとツハルちゃんごきよ

ご飯は  
かなー

二日全  
アトラクション  
制覇しまーぬ





## テンシでワルイ娘 DEAREST

発行:Trick-Color

発行者:桐井ナオ

発行日:2023/5/7

印刷:株式会社ブロス様

Twitter:@nao\_kirii

メール:nyannkoromochi@hotmail.co.jp

18歳未満の方の閲覧を禁止します。

内容の転載・不正アップロードを禁止します。



Blue  
Archive

TRICK  
ARCHIVE  
UNOFFICIAL  
FAN BOOK  
Trick-Color

